

はらむら 議会だより

第108号

平成24年2月10日発行
発行／長野県諏訪郡
原村議会
編集／議会広報編集委員会
TEL 0266-79-2111
FAX 0266-79-7951
☎ 391-0192



原村成人式

■平成23年■
第4回
定例会

- 12月定例会…………… 2
- 第4回臨時会…………… 4
- 中学生議会…………… 5
- 委員会報告…………… 6
- 視察報告…………… 8
- 一般質問…………… 10
- 議会日誌…………… 14

12月定例会

平成23年第4回定例会は12月7日から16日まで会期10日間で開催した。

平成23年度一般会計補正予算案など村長提出議案7件と議員提出議案1件を審議した。委員会での審査の内容は委員長報告の通りです。

◎図書館条例の一部を改正
(内容) 図書館法改正に基づき、協議会について定める条ずれによるもの。
・特別顧問の報酬48万円を計上。
・県営かんがい排水事業の37億1千127万円とするもの。

◎スポーツ振興審議会条例の一部を改正
(内容) スポーツ振興法から基本法への改正にともなう、文言の整理。
・県営中山間総合整備事業150万円の増額。
・子ども手当で交付金1千929万円の減額。

◎特別職の職員で非常勤の者の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正
(内容) 非常勤特別職特別顧問の設置に伴うもの。
◎一般会計補正予算(第6号)
(内容) 既定の歳入歳出予算の総額からそれぞれ1千511万2千円を減額し、

◎後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

(内容) 既定の歳入歳出予算の総額にそれぞれ42万円を追加し、6千442万円とするもの。

◎水道会計事業補正予算(第3号)
(内容) ハツ手配水池電磁弁取替工事費160万円を計上するもの。

請願・陳情の審議

結果は次の通りです。

◎TPPへの参加反対の意見書提出を求める請願

請願者
農民運動長野県連合会
諏訪農民センター
代表者 菊池 敏郎
「全会一致で採択」

◎浜岡原子力発電所の廃炉を求める意見書の採択を求める陳情

陳情者
脱原発諏訪連絡会
共同代表 塩原 俊
藤瀬 恭子
毛利 正道

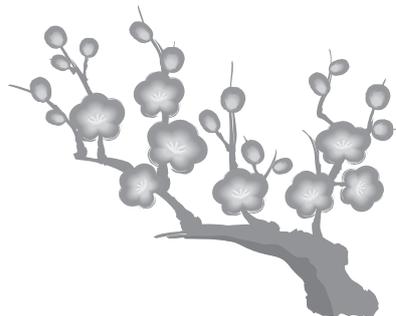
意見書の提出

「全会一致で趣旨採択」
◎TPP参加に向けた協議の中止を求める意見書

提出者
総務産業常任委員会
委員長 小平雅彦
衆・参議院議長
内閣総理大臣
外務大臣
経済産業大臣
農林水産大臣



出初め式



平成23年第4回定例会 審議結果

表記：○は賛成、×は反対、▽は退席、－は欠席

議案等 番号	議 案 名 等	議 員 名									審 議 結 果
		小池 和男	宮坂 早苗	鮫島 和美	木下 貞彦	小池 利治	矢島 昌彦	小平 雅彦	長谷川 寛	日達 徳吉	
《村長提出》											
議案第43号	原村図書館条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第44号	原村スポーツ振興審議会条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第45号	特別職の職員で非常勤の者の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第46号	平成23年度原村一般会計補正予算（第6号）について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第47号	国民健康保険事業勘定特別会計補正予算（第2号）について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第48号	後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第49号	水道事業会計補正予算（第3号）について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
《議員提出》											
発委第3号	TPP参加に向けた協議の中止を求める意見書提出について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決



初すべり（小学校校庭）



（期末手当の減額措置）
平成23年度から4年間、
それぞれ年10万円を減
じた額とする。

提出者 木下 貞彦
「賛成少数で否決」
賛成4、反対6
（内容）

◎「議会の議員の報酬及び
費用弁償等に関する条
例」の一部を改正する
条例の一部を改正する
条例について

議員発議（発議第9号）

「追加掲載のお知らせ」
議会だより第107号
（平成23年11月10日発行）

中学生議会

平成23年10月14日、第13回中学生議会が原村議会議場で開催された。

3年生6名が質問に立ち、奥原佳奈子さん、北村遼平君の二人が議長を務めた。

(中学生議会の目的)

公民的分野「地方自治と住民の権利」の単元の学習の一貫として、地方議会の疑似体験を通じて、地方自治に対して関心を高め、理解を深める。

【質問件名・発言議員名】

◎合宿施設の設置について

小林 直樹

◎歩道の整備について

小野寺 陸

◎高齢者の生活支援について

荒木 瑞葉

◎原村に商業施設を誘致することについて

奥山 奈央

◎通学路への街灯の設置について

前島 奈々

◎通学路の整備について

五味 健樹

中学生議会で、議長を務めた二人より、寄稿していただきましたので掲載します。

三年一組 奥原 佳奈子

中学生議会に参加することで、貴重な体験が出来ました。議長席は他の席より一段高く、とても緊張しました。ですが、村の議長さんや議員さんが気さくに話しかけて下さり、とてもリラックスして議会に臨むことができました。

答弁を聞いてみると、議員さんが中学生議員の話に対して真剣に答弁をしているのが伝わりました。中学生にもわかりやすく具体的な数値などをあげて説明していただき、中身の濃い議会になったと思います。

この議会は、中学生の視点から村を考えることで、大人ではわからないことも取り入れられ、村の活性化につながるものだと思います。そのような場で議長を務めさせていただき、良かったです。ありがとうございます。

三年二組 北村 遼平

僕は中学生議会の後半に議長として進行をしました。議長席に座った時は高くてまわりがよく見えて、ここで議会が行われているのかと思い、最初から感動しました。

一般質問の中で、時には議員さんの答弁に中学生議員がさらに質問をすることもありました。そのような時には会議を一時中断して村の議員さんが集まり話し

合いをして答えをおっしゃっていました。中学生の質問にも一つ一つ誠実に答えて下さり、議員さん達はすごいと思いました。答弁一つ一つが具体的な情報や現状を詳しく把握されていて、議会の前に詳しく調査して下さったこともわかりました。今回は中学生議会で真剣な議論が聞けて貴重な経験になりました。



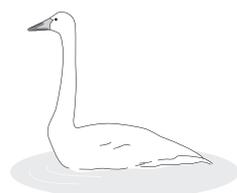
中学生議会



委員会報告

総務産業常任委員会

委員長 小平 雅彦



23年度一般会計予算の補正、陳情、請願等について審査した。

また、低燃費エコエネルギー暖房実践事例、農道改良事業等について事務調査を実施した。

・特別顧問の設置（エコビレッジ、省エネビジョン、新エネビジョンの推進）

・ともなう報償費の計上。県営中山間総合整備事業の増額（北芳原農道改良）、県営かんがい排水事業の減額（一之瀬汐改修）、八ヶ岳自然文化園の自動車の購入、非常備消防安全装備品等の増額が主なものである。

◎特別職の職員で非常勤の者の報酬及び費用弁償に関する条例

・原村スポーツ振興審議会
条例の改正、図書館条例の改正、新たな施策推進のための非常勤特別顧問の設置等にもなうもの。

☆「国の関連法令改定にもなう改正、並びにエコビレッジ推進のための特別顧問設置にもなうもので、条例改正は必要である。」との意見があった。

◎23年度原村一般会計補正予算

☆省エネ、新エネビジョンにそって幅広い発想で企画、実践されることを要

☆特別顧問の活動について議論。エコビレッジ、省エネ、新エネ対策の実践が具体的に推進され、地域の発展につながる活動を期待する。

☆住民税の収納については、調停額、収入額、収納率共に向上している。担当課の努力を評価したい。

望したい。

☆「子ども手当は子育てに重要で、減額は保護者の負担につながる。独自に村の施策が必要である。」等の意見があった。

◎TPPへの参加反対の意見書提出を求める請願

☆「日本の農業や食の安全、医療・保険等国民生活に大きな影響が出る事が予想される。国民合意も出ていない現状の中ではTPPへの参加は反対」との意見があった

事務調査報告

◎有限会社コウ・キタダ建設 設計工房

「鉄平石蓄熱床暖房」
鉄平石の碎石を家屋床下に敷設し料金の安い夜間深夜電力を使用して蓄熱し、「安全で、いつでも

暖かく、健康的で、燃費が良いエコ暖房システム」を開発、個人住宅で施行している。

○施行例（標高約1千200m）住宅全体に敷設、3年経過したが、「省エネ、節電、ローコスト」で快適な生活を実現していた。

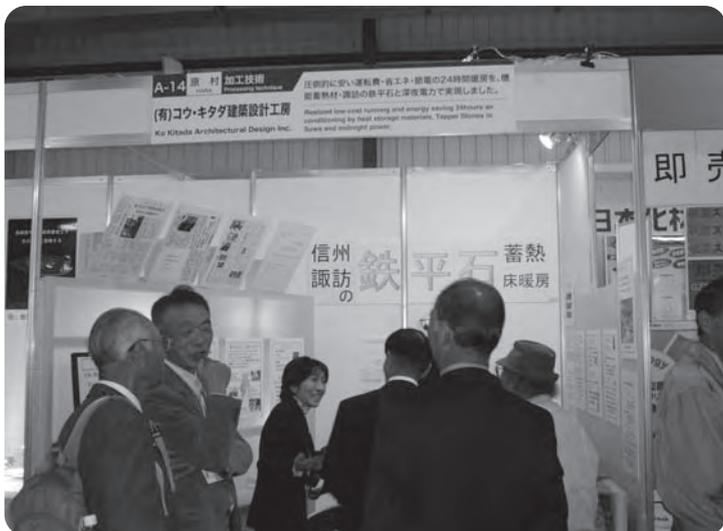
○「冬のデータの」と、灯油による暖房方式の1/8ほどのローコストデータとなっている。「との説明があった。今後のエコ

エネライフ暖房システムとして注目したい。

◎県営中山間総合整備事業「北芳原農道整備事業」

弘沢南、やつがね東の農道未整備地域の改修工事（拡幅、舗装）。事業規模幅5m、距離1km、平成24年5月完了予定。

○集荷の荷痛み防止、通作時間の短縮、営農・荒廃農地の改善につながることを期待できる。



諏訪工業メッセにて

社会文教常任委員会

委員長 長谷川 寛

今議会では、6議案を審査した。

いずれの案件も、全会一致で可決すべきものとした。

◎図書館条例の一部改正

・国の図書館法改正に基づき、図書館協議会について定める条ずれが生じたことによるもの。

◎23年度国民健康保険特別会計補正予算

・医療費の伸びにともなう不足額を納付するもの。
・未収金の滞納整理は進めている。

☆「医療費の伸びは心配だが、補正は賛成する」との討論があった。

◎スポーツ振興審議会条例の一部改正

・「スポーツ基本法」への全面改正により、スポーツ振興から推進へと変わることにもない、文言の整理を行ったもの。

◎23年度後期高齢者医療保険特別会計補正予算

・医療費の伸びにより、広域連合へ納付したもの。
・23年度水道会計補正予算
・八ッ手配水池電磁弁取り替えによる。

◎23年度一般会計補正予算 子ども手当支給額の変更

・準要保護家庭の援助費、資材支給事業費の増額などによる。



議 会 報 告 ・ 懇 談 会

11月9日～10日の日程で議会報告・懇談会を2会場（柏木公民館、弘沢コミュニティセンター）で開催した。

議会活動などの情報を公開するとともに、村民の皆様よりご意見・ご要望をお聞きする目的で、平成20年4月の初回開催より通算で17回目となった。

今回は平成22年度一般会計などの決算状況について、

総務産業常任委員会、社会文教常任委員会の各委員長より報告した。

懇談会で頂いたご意見、ご要望は、各常任委員会の審査の中で調査し、改善すべき事項等については行政側につないだ。



元旦マラソン

視察報告

総務産業常任委員会

委員長 小平 雅彦

11月15日～17日にかけて「東南海地震」や「浜岡原発」への対応が緊急課題となっている静岡県御前崎市の地域防災対策。

愛知県知多市の埋め立て等大規模開発による石油コンビナートの環境政策。エネオス等大規模企業との環境連携。

浜岡原子力発電所の施設の現状と防災対策について視察した。

御前崎市の防災対策

○東南海地震発生の緊急度が高まる中、浜岡原子力発電所での事故防止に加え、津波、大規模火災、海難、竜巻等災害対策は多岐に渡っている。

地域防災計画を見直し、防災対策の中核となる「防災センター」「防災専門官」の設置等行政組織の充実。ソーラー発電回転灯の設置による避難路の確保、長野県高森町との防災協定による全市民の緊急避難対策。自主防災組織育成のための多様な支援施策を実施し、住民による自主、共助の強

化を図る等、自治体の総力をあげた防災対策に取り組んでいた。

議会も国、県への要請活動、中部電力に対する原発の安全対策等活発な活動を展開している。

御前崎市は海岸に面し、原発を抱えていることから対策に緊迫感が感じられた。高齢者や障害者への防災ベツト、シェルターの設置。避難が完了した家は目印の旗を立てる等、災害対策に参考にするべき点が多かった。

知多市役所

○知多市は、埋め立て地が多く、開発が進んだ臨海工業都市として、大規模地震、火災等の災害対策と自然環境の保全が重要な課題となっている。

「より良い環境を協働でつくるまち」「資源を節約し循環利用するまち」「人と自然が調和・共存するまち」づくりを目標とし、環境リーダーの育成、未利用エネルギーおよびバイオマス利用の推進、もったいない精神の浸透、緑地保全、

生態系維持等多様な環境対策事業を進めている。

また、原村と「森の里親契約」により環境連携森林整備活動を実施している。

「JX日鉱日石エネルギー知多製造所」等企業との連携より、緩衝緑地の整備を行なっている。住居地域と工業地帯との分離対策や地域住民との連携による自然生態系の保全、埋め立て地の自然観察会等の環境対策を実施している。

埋め立て地の大規模工業地帯と名古屋市等大都市のベツトタウンとして開発が進み、住民の自然環境意識の希薄化が課題となっていることから、工業用水、生活用水の生命線である愛知用水の保全対策を柱として自然との共生活動等の環境対策を実施していた。

また、石油化学コンビナート、港湾利用のタンカー等の火災や公害対策、大規模地震に備えた防潮堤の強化等総合的対策に取り組んでいた。

浜岡原子力発電所

○東海、東南海、南海3連動地震発生に対応し
①砂丘防潮堤の補強（高さ20m、距離1.6km）。

②施設への浸水対策として緊急時海水取水施設の設置。原子炉建屋外壁の耐圧・二重気密扉等防水性の強化。
③非常用発電施設の高台設置、注水、除熱機能の強化等大規模地震を想定した耐震工事が急ピッチで進められていた。

また、「地域の要望に応え防災訓練、環境対策等の連携を一層深めていく」との説明があった。



浜岡原子力発電所

社会文教常任委員会

委員長 長谷川 寛

先進地

(視察研修日程)

10月25日～27日にかけて

(1) 富山県小矢部市

「認知症安心ネット」

(2) 滋賀県彦根市

「ひこね元気計画21」

(3) 奈良県山添村

「福祉にやさしい村づくり」
について視察した。

(1) 小矢部市の取り組み

・ビジョンとして「認知症になっても安心して暮らせるまちづくり」を宣言。

・土台作りとして理解者、支援者を増やす

・啓発普及「認知症を知る集い」毎年開催

・本人家族への支援の輪を広げる

・見守りネットワーク構築。徘徊見守り模擬訓練を毎年実施。

・ビジョンと共に、担当者の地道な取り組み（ローラー作戦という出前講座で、認知症サポーターを養成）の熱意を感じた。

・認知症そのものの絶対数が多くはないので、運動を継続することは容易ではない。

(2) 彦根市の取り組み

・「彦根元気計画21」に基づいて、生活習慣病の予防を目的に、市民、企業、行政が協力してまちづくりを進める。

対象年齢を40代、50代、60代に絞り、健康課題も高脂血症、肥満、高血圧、腰痛、歯周疾患に絞っている。

・改善したいライフスタイルを定め、生活習慣の課題を5か条にまとめている。

・実行委員会が、地域・職場・民間に働きかけるための具体策を企画し、取り組みを遂行する。この組織づくりのために、個人的に関心の高い人をお願いする形でつくりあげていった。継続して運動を発展させるためには、中心になる健康推進課の課長さんの熱意を感じた。

(3) 山添村の取り組み

・福祉センターとして、デイクエアセンター、入浴施設も備えた立派な建物が整備されている。
・村の立地条件として、平

地が少なく、集落も散在しているため、中心地が明確でないなどの不利な条件を抱えている。
そのためか大きすぎると思われる施設の、稼働率が低い。

・施設周辺の公園、ホール、グラウンド、全国大会が開けるほどの屋根つきゲートボール場など、現村長が事業を中止するまで、

相当な額が投入されていた。
・福祉センターは、平屋で利用しやすい。面積的には難しいが、原村にもあれば良いと感じた。



彦根市視察



質問

国保会計の赤字立て直しは

小林 庄三郎



早急に「国保運営協議会」で検討してもらおう

（質問）国民健康保険事業の決算状況は、平成20年度から3年続いて単年度収支が赤字になっていく。立て直しが必

要ではないか。

「村長」給付費が予想以上に伸び、逆に保険税収入が減ったことが、赤字の要因になっている。今年度も基金の残高1千900万円の全額を投入しても数千万円の赤字が予想される。抜本的に国保税を見直していただく必要があると思う。

早急に国保運営協議会に検討をお願いしたい。

（質問）病気は予防、早期発見、早期治療が重要だと言われている。健康づくり及び保健指導事業の更なる推進のためにも保健師など担当者の増員が必要。

「村長」原村は保健師1人当たりが担当する人口は少ない。つまり手厚く行っている。保健師の増員が必要だとは考えていない。

（質問）多様化する村民ニーズへの対応のため「行政評価」は大変有効であると思う。これに対する考えは「村長」これまで行政評価は行っていないが、第4次原村総合計画後期基本計画

エコビレッジ構想で どんな村づくりを 目指すのか

木下 貞彦



特別顧問の提案を受けて決める

では平成27年度までに行政評価システムの試験導入、運用を行い、28年度には正式導入を目標としている。今年度は行財政改革プログラムの検証と併せて、先進的な事例を参考に、効率的かつ実効性のある行政評価のあり方をまとめ、来年度の早い時期に原村振興計画審議会において審議してもらい、施行する計画。

（質問）公約としてきたエコビレッジ構想の取り組みについて、今議会に提出の補正予算、来年度予算にはどんなものが盛り込まれるのか。どんな考えがあるのか。

「村長」1月に特別顧問を採用して、3月までに提案を受けて新エネルギーや省エネルギー等専門家の見地から、学者先生でなく優れたアイデアを実践していただき、原村の先進的な取り組みを学生たちが勉強に来るとか、見学者が来れば、村の活性化につながる。24年度予算に何らかのものを盛り込み、1年でも早くエコビレッジに向けていきたい。

（質問）パーマカルチャーという、エコのやり方もある、どんなことを考えるか。

「村長」オーストラリアのパーマカルチャー研究所が提唱しているわけだが、大変興味はある。否

自治体を取り入れるには、普及の度合いを見ていく必要がある。

（質問）既によその公共施設では車通勤の職員の駐車料金徴収している所もある。村で検討したらどうか。

「村長」いろんな条件整備をして実施していきたい。

（質問）阿久遺跡には、2つの説明看板があり、動物19個体のカービングアートが設置された。教育効果と、今後の管理はどうなっているのか。

「教育長」平成21年から間伐をし、整備を進めている。小学校の学習指導要領も変わり、郷土の遺跡について学び、社会科を中心に子ども達の学習の場として活用していきたい。カービングアートは保存方法を専門家に聞いて、5、6年はもたせたい。



原村の教育・ 学習環境の整備は

小平 雅彦

中学校の大規模改修 小学校トイレの洋式化を行う

〔副村長〕昭和63年供用開始以来82.7kmの管路が敷設されている。機械については、毎年定期点検を行い不具合は修理している。管路は、平成16年より点検調査を実施している。補修箇所を早期発見により長寿命化を図って行く。

〔質問〕下水道の管路等の保全管理と、計画区域外の接続拡大について。

〔副村長〕下水道の管路等の保全管理と、計画区域外の接続拡大については、毎年定期点検を行い不具合は修理している。管路は、平成16年より点検調査を実施している。補修箇所を早期発見により長寿命化を図って行く。

〔質問〕下水道計画区域の拡大は費用等から、不可能に近い。隣接市町の新たな接続も見込みが無い。

一般 村政を

〔質問〕学校教育の方針と教育環境の充実を図るための施策は。

〔教育長〕賢く、心やさしく、たくましく、子ども。

〔質問〕郷土を愛し、誇りを持てる子どもを育てる。

親子の絆、愛情を育む家庭教育の啓発。幼保・小・中一貫教育を進める。新学習指導要領に対する課題も教育の中に生かして行く。

〔村長〕35人規模学級は続けて行く。中学校の大規模改修、小学校のトイレの洋式化を行う。予算は厳しいが、教育環境の整備には出来るだけ対応して行く。

浄化槽は管理されているのか

長谷川 寛



把握するよう努力する

〔質問〕TPPへの対応は。

〔村長〕農業への打撃も大きく、町村会等を通じて反対表明をして行く。TPP問題に対する研修会も開いて行く。

〔質問〕村内の水質が、良好に保全されるためには、浄化槽の処理能力がきちんと維持されている事が重要である。その管理の為に、村内の浄化槽が何基あって、管理の状況がどうか、役場が把握している必要があるが実態はどうなっているか。

〔副村長〕村内で75基を確認している。村内の設置状況については、生活排水基盤図の整備が本年度中に完成する予定。管理の記録点検をして、報告されているのは、75基中463基です。

〔質問〕点検結果の報告がないという事は、ちゃんとした管理がなされていない可能性がある。それらに対して、把握をして指導することが村の仕事ではないか。

〔副村長〕県との連絡を密にして把握し、指導する体制を整えていかなければならない。

〔質問〕スケートリンクの管理は日当制にして、スポーツ団体には公平な補助金

〔質問〕遠距離通学費の支給はゼロリン号の回数券支給にすべきではないか。

〔村長〕使い勝手が良くない。皆さんで議論して提案を頂きたい。

〔質問〕スケートリンクの管理は、教育委員会、スケートクラブの方針によるもので、体協の判断もある。村民の理解も得られるよう考えたい。



上里、判之木地区の下水道工事は

小池 利 治

上里、判之木地区の下水道工事は



工事の予定はない

（質問） 村内で、地域によつては、下水道が接続できない地域がある。四季の森ペンションなど上の方が接続されているのに、上里、判之木地区等の下の方がどうして接続地域にならないのか。新しい家も増え、人口増加を考えると、最終的には全村的に考えるべきではない。

（質問） 原村の地形を生かして、水力発電を検討してみてもどうか。また県からメガソーラーの適地の照会があったが、原村の動きはどうなっているか。

「村長」 水力については全く不可能ではないが、あまり重きをなさない。メガソーラーには区有地一ヶ所、4ヘクタールを報告しているが、原村は候補から漏れた。

（質問） 原村の特産品であるセルリーを主とする高原野菜、花卉等も温暖化、連作等により病虫害に変化が起きている。専門家、農協も交え原村独自の農産物を研究していくことも必要。また新規就農者、農業後継

「一万人の原村」の未来像は

鮫 島 和 美

人口減よりは人口増の方が良い



者に新しい土地の開拓、耕作地の確保については。

「村長」 近年はニンニク、タマネギ、他にビート、赤いサトウダイコンなどが栽培、出荷されている。これら作物を中心に、農事試験場、農業改良普及センター、農協などと協力して検討を勧めたい。新規就農者から耕作地の相談があれば農業委員会を通じて紹介している。

（質問） 「一万人の原村」が実現した場合の村の未来像をどう考えるか。また、ライフラインや福祉等を含めた裏づけをどう考えているか。年々転入者が増加している中で従来の住民と新しい住民の相互理解と信頼感を築くことも大切な課題だと思ふ。

「村長」 「一万人の原村」は公約という程のものではなく、確たるビジョンがあるわけでもない。人口が多くなればインフラ整備も必要になるし、福祉施策についても予算がかかるが、人口増によって経済活動が活発になり、村も活性化すると考えている。昔からの住民と新しい住民の相互理解、信頼感の育成という点については相互の交流しかない。村の行事等への積極的参加を望んでいる。

（質問） 国保財政の見直しと対策は。

「村長」 国保財政の危機的状況を考え、まず国保税を上げ、健康づくり事業も行う。なお国保会計が赤字か

ら脱却出来ない場合は一般会計からの法定外繰り入れも考えることになる。

（質問） 南三陸町慰問視察の結果、被災地支援などに対する考え方の変化は。

「村長」 南三陸町の町長から「復興のために何とかまなパワーを貸して欲しい。」と言われた。可能ならば復興支援のために村の職員を派遣したい。

（質問） 災害時を考えたの公の施設のトイレの改修は。

「村長」 便器の洋式化は年次計画で進める予定である。公民館についても、条例に従い、地区からの要望があれば補助金は出す。





医療費無料化は 小池和男 目玉事業である

出来ないか」と言う村民の声も聴くが、どのように考えるか。

「村長」過去に見送った経緯がある。皆さん方で平生から議論をして欲しい。

（質問）国保会計大幅赤字解消は、「健康はらむら21」の事業推進・滞納整理と保険税値上げも必要でないか。

「村長」一般会計からの法定外繰り入れと、国保税の値上げのみでは、村民からの理解は得られない。健康づくり事業に一生懸命取り組み、滞納整理も厳格に指導している。最終的には、受益者負担の値上げも理解して欲しい。

（質問）「特定健診の受診率を5年後65%達成せよ」の方向性は。当村は33.1%。あと1年では達成できそうもないがどう考えるか。

「課長」数年延びそうな情報である。

（その他質問事項）

○八ヶ岳美術館にある郷土出身の書家の作品について

高校生の医療費・ワクチン接種の無料化 通学費補助について

宮坂 早苗

医療費支給拡大検討、ワクチンと通学費補助は考えにくい



料化を考えていただきたい。

「村長」季節性インフルエンザで、高校生以下の年齢すべてとなると、補助額も2倍になる。その補助は難しい。子宮頸がんワクチン接種については、現在高校生2年まで機会がある。

（質問）原村に住む子ども達0歳から18歳までを一貫して、教育、福祉共に育む環境を整え、支援していただきたい。奈良県山添村は、医療費ワクチン接種について、高校生まで無料化しているとのことだった。医療費については、支給拡大の検討中とのことだが、ワクチン接種についても現在ある補助金交付対象年齢拡大、無

○青少年健全育成協議会事業で各地にある啓発看板について

○中央高原の消化栓ボックスの更新について

何か理由があるのか。職場のインフラ整備は非常に整っているが。

「村長」適材適所、能力主義。そういうことでやっている。

（質問）原村若者定住促進新築住宅補助金要綱「(2)保健休養地に農業経営者または農業後継者であつて自己または親族が20年以上山林を所有している土地に新築した住宅であること。」とある。保健休養地は、定住を想定しない、補助をしないと云ってきた地区ではないのか。『第4次原村総合計画後期計画の方向性や問題点』に、森林の開発の進行や荒廃などによる保水力・浄化作用の低下、中央高原への転入に歯止めをかけていく」となっている。40歳以下の若者には、平等な支援をしていただきたい。

「副村長」「家を建てる場所がなく自分の土地に建てたいからなんとか補助ができないか」という要望があり、農業後継者又は農業経営者に対する救済のために、2項を設けた。現在1件の申請である。

（質問）原村には、女性の課長級の管理職がないが、

議会日誌

- 10月
 - 1日 原村戦没者追悼式
 - 4～5日 第3回諏訪広域連合議会
 - 6日 全員協議会
 - 12日 日本禁煙友愛会茅野市・原村支部合同ゲートボール大会
 - 全員協議会
 - 議会だより編集委員会
 - 13日 長野技能五輪・アビリンピック2012諏訪地区1年前イベント”ものづくり技能フォーラム“
 - 諏訪圏工業メッセ2011
 - 14日 平成23年中学生議会
 - 15日 富士見高原病院祭
 - 16日 諏訪中央病院ふれあいの里記念式典
 - 17日 東伊豆町緊急地域活性化誘客キャラバン来庁
 - 19日 全国諏訪神社連合大会
 - 原村ゲートボール協会「原村杯争奪ゲートボール大会」
- 11月
 - 2日 原村五者懇談会
 - 福島県鏡石町議会視察研修来村
 - 7～8日 南諏衛生施設組合議会視察研修
 - 9・10日 議会報告・懇談会
 - 14～15日 諏訪南行政事務組合議会視察研修
 - 15～17日 総務産業常任委員会視察研修
 - 22日 諏訪郡町村議会議員研修会
 - 原村国保運営協議会委員研修会
 - 28日 新潟県刈羽村議会視察研修来村
 - よいしよまつり祭典委員会
- 12月
 - 1～2日 諏訪中央病院組合議会視察研修
 - 2日 議会運営委員会
 - 3日 清水多嘉示プロンズ除幕式
 - 7～16日 第4回原村議会定例会
 - 8日 全員協議会
 - 16日 全員協議会
 - 21日 原村活性化協議会高天酒造視察
 - 23日 こひつじ幼稚園降誕祭
 - 26日 議会広報編集委員会
- 29日 第4回原村議会臨時会
- 諏訪中央病院組合監査
- 原村鳥獣害被害対策協議会
- 20日 暴力追放長野県民大会
- 22日 八ヶ岳まるごと収穫祭
- 諏訪中央病院祭
- 25～27日 社会文教常任委員会視察研修
- 26日 県町村議会議長会定期総会
- 28日 原村表彰式



どんど焼き

議長交際費

(平成23年1月より12月まで)

期日	金額	内容
1月14日	5,000円	諏訪消防協会新年会 会費
1月14日	6,000円	諏訪圏青年会議所新年会 会費
2月4日	15,000円	諏訪地方議会正副議長懇談会 会費
4月27日	3,000円	日本禁煙友愛会原支部総会 ご祝儀
7月12日	3,000円	国民平和行進 激励金
7月26日	3,000円	八ヶ岳寮・アイリス・精明学園合同納涼祭 ご祝儀

議会の傍聴にお出かけください

次回(平成24年3月)の定例会は3月2日(金)招集の予定です。一般質問の放送をサラダチャンネルで行っています。ぜひご覧ください。

お問い合わせは、議会事務局に(0266-79-7951)

編集後記

昨年を振り返ると、3月の議会中に発生した東日本巨大地震・大津波・福島第一原発の事故と、長野県北部地震に加え天候不順による豪雨災害などの問題と政治の混迷もあり日本中大揺れであった。

一刻も早く安定し、安全で安心して暮らせるように願っています。

議会活動を通じて、活動内容をお知らせする手段として議会だよりを発行しています。お気づきのことがあります。お問い合わせください。

(小池 和男 記)

編集委員会

- 委員長 小林庄三郎
- 副委員長 小平 雅彦
- 委員 小池 和男
- 同 宮坂 早苗
- 同 鮫島 和美
- 同 日達 徳吉